



2025年度 市政懇談会 <町田第二地区町内会・自治会連合会>

次 第

[日時] 2025年10月14日(火) 18:30 ~ 20:00

[場所] 市民協働おうえんルーム

司会進行：市民部長

横山 法子

町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 藤川 孝之

○ 連合会長の挨拶

町田第二地区町内会・自治会連合会 会長 中 一登

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 町田市中心市街地再編について

【都市づくり部】

2 モノレールの延伸ルートについて

【都市づくり部】

3 都市計画道路3・3・36号線市民病院前、「はらたむかい」の交差点名の掲示について

【道路部】

4 旧消防署跡地について

【政策経営部】

5 健康遊具を活用した高齢者の健康増進について

【都市づくり部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 町田第二地区町内会・自治会連合会 副会長 平本 純一

2025年度 町田第二地区町内会・自治会連合会 市政懇談会 議事録

[日 時] 2025年10月14日（火）18：30～20：00

[場 所] 市庁舎 市民協働おうえんルーム

[出席者] 町田市長 石阪 丈一

政策経営部長 唐澤 祐一

道路部長 深澤 香織

都市づくり部中心市街地・モノレール推進担当部長 萩野 功一

都市づくり部都市整備担当部長 新 聰

市民部長 横山 法子

町田第二地区町内会・自治会連合会長 ほか8名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

司会進行：市民部長

町田第二地区町内会・自治会連合会副会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 町田市中心市街地再編について

中心市街地の再編にあたり、今後の町田第二地区（中町、森野等）の市街地整備の方向性について教えていただきたい。また、市街地整備に係る住民説明を行う際は、文章が多いと住民毎にイメージが異なり意見集約が困難となるため、イメージがしやすいようイラスト等で分かりやすく説明していただきたい。

【回答】

中心市街地・モノレール推進担当部長

今後の町田第二地区（中町、森野）の市街地整備の方向性について、回答

いたします。

町田市では、2024年6月に「町田駅周辺開発推進計画」を策定しております。計画では、開発コンセプトを「いつだってまちだ～新たな賑わいと交流の創出」とし、資料1で示しております森野一丁目から原町田六丁目にかかるAからD地区と、原町田一丁目のJR町田駅南地区を合わせた5地区で、エンターティメントによるまちづくりを目指しています。

現在は、地権者と再開発に向けた協議・検討を進めておりますが、地区ごとのまちづくりの方向性について、資料も使って、概要をご説明いたします。

まず、モディから東急ウエストまでのA地区は、大規模な商業施設や銀行などの業務施設が集積した地区です。

まちづくりの方向性としては、多摩都市モノレールを受け入れる空間整備や商業・オフィスなどの機能導入を目指しております。

小田急線町田駅北口周辺のB地区は、銀行及び平面駐車場として、比較的、低利用な土地利用である地区です。

まちづくりの方向性としては、シネマコンプレックスや商業・オフィスなどの機能導入を目指しております。

西友・パリオ周辺のC地区は、商業施設がメインとなっている地区です。

まちづくりの方向性としては、演劇・ミュージカルホールや商業・オフィスなどの機能導入と併せて、D地区への連絡通路の整備を目指しております。

森野住宅周辺のD地区は、JKK東京の団地、市営駐輪場、戸建て及びマンションがある地区です。

まちづくりの方向性としては、資料2でイメージ図をお示ししておりますが、音楽演劇ホール、芝生広場、駐輪場、住宅などの多様な機能導入と併せて、相模原市へのアクセス道路などの整備を目指しております。

市営原町田一丁目駐車場周辺のJR町田駅南地区は、市営駐車場、JR事務所などがある地区です。

まちづくりの方向性としては、公共駐車場・駐輪場、商業、住宅などの機能導入と併せて、原町田自由通路のリニューアルも実施してまいります。

いずれの地区も、まだ地権者と協議段階であり、具体的な図面等は描けていない状況ですが、今後、市民の皆様へ駅前再開発について説明する際は、イラスト等で分かりやすくお示しできるよう工夫してまいります。

《質疑》

町田市中町中央町内会

どうもありがとうございます。

D地区に対して質問ですが、そこに今住宅がたくさんありますよね。この方向性は高層住宅にするということですか。

それから、音楽ホールという話がありましたので、もうちょっとイメージ

があれなのですが、タワーマンションみたいなものができて、団地が集約されますね。空き地に音楽ホールが真ん中辺に建つというイメージでしょうか。

中心市街地・モノレール推進担当部長

まずD地区の住宅の件ですが、資料1の図面で説明しますと、道路は地区内をS字に通る予定で、住宅地としては、地区の東側と西側の端に配置することを考えています。もちろん、J KK森野住宅の建て替えでは、今お住まいの方もいらっしゃいますので、その住まいも含めて、J KKさんの住宅を西側に集約して、それ以外は戸建て住宅ですとか、マンションもございます。そういういた部分は、高層住宅になるのか、まだ未定ですが、住宅等、しっかり住み替えができるように考えているところです。

音楽・演劇ホールにつきましては、資料の写真に載っているイメージですが、コンサート、例えば歌手が来てライブをする、若者向けのライブのような、そういういたものをイメージしていただければと思います。それを今の予定だと、地区の中央付近に造り、住宅棟とは別の建物で考えています。

あわせて、駐輪場を空いているところへ造っていくイメージで、音楽・演劇ホールの前には、皆さんが出えるような形で芝生の広場などを造ります。あと、西友からD地区へ行く連絡通路も考えている最中です。

町田市中町中央町内会

タワーマンションというのは何階建てぐらいですか。

中心市街地・モノレール推進担当部長

まだ何階建てになるかは決まっていませんが、100mぐらいの高さで考へると30階とか、大体それくらいかなと思っているところです。収支の計算をする中などで最終的に規模を決めてまいりますので、まだそこまで至っていない状況です。

町田市中町中央町内会

あそこに住んでいらっしゃる方が全員入れるという構想ですか。

中心市街地・モノレール推進担当部長

希望者は全員入れると考えていますが、ただ、一部の人は補償金をもらって出ていくというパターンも当然考えていますし、J KKの場合も住み替えという形になりますので、残る方、また別の団地へ移る方、様々状況に応じて対応するものと考えています。

森野団地自治会

これは初めて今日見たのだけれども、今の赤い点線でやるという、これは新しくできる道路ですか。前に話を聞いたときは、そんなに曲がっていなくて、公社から、7号棟の横から潜って、川の向こうにコンビニがありますよね、あの辺へ出ていくという話で聞いていたのですが、何の説明もないで、公社を呼んで、うちのほうで確認を取りました。そうしたら、公社のほうも、市のほうとどうのこうのと、なかなか進まない。公社に話をして、来てもらって説明を受けました。それでもまだはっきりしないのですが、今の点線からいくと、道路の部分は7号棟の横のほうからコンビニに抜けるような話で一応聞いています。

中心市街地・モノレール推進担当部長

道路の位置ということだと思いますが、今、これはまだ確定ではありません。こちらが今、都営住宅、ここが市民ホール、市役所です。まず、ここからアンダーパスという形でJR横浜線をくぐって、どっちへ振れるかというのは、まだ確定していません。まだ、これは絵の段階なので。曲がるところも、建物の配置なども含めて最終的に決めていきます。今の予定ですと、大体真ん中辺で1回S字に曲がっていって、なるべく無駄な土地を出さないように小田急線沿いから相模原へ車が抜け、歩行者はある程度、デッキ、この上のレベルで歩けるような形で考えています。もちろん、下の道路も歩道つきで造っていくのですが、位置については、まだまだ不確定要素がありますので、イメージとして捉えていただければよろしいかと思います。

2 モノレールの延伸ルートについて

モノレールのルートは現行計画のまま進められているのでしょうか。また、町田第二地区を通るルートに変更はないのでしょうか。事業の進捗を教えてください。

【回答】

中心市街地・モノレール推進担当部長

モノレールの延伸ルートについて、回答いたします。

多摩都市モノレールは、多摩地域における相互の連携を強化し、多摩地域の南北方向の公共交通をより充実させるため、東京都と多摩都市モノレール株式会社が主体となって整備されます。

多摩都市モノレールの全体概要を、資料1の図で説明しますと、全長9.3kmの構想があり、黄色で示した現在営業している多摩センター駅から東大和市の上北台駅間の約1.6kmの他、箱根ヶ崎方面、町田方面、八王子方面の3つの延伸が計画されています。

そのうち、町田方面延伸につきましては、2021年12月に東京都主催の「多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会」において、資料2で示す多摩センター駅から野津田公園、日大三高、小山田桜台団地、桜美林学園、木曽山崎団地、町田市民病院、芹ヶ谷公園を経由して町田駅に至る、約16kmを事業化に向けて検討を進める基本ルートとして選定しました。

現在の進捗状況としましては、東京都、多摩市、多摩都市モノレール株式会社とともに、建設費高騰に伴う収支採算性の見直しや、モノレール需要創出の取組内容など、事業化に向けた協議を進めているところです。

町田市の具体的な取組としましては、2024年3月に多摩市とともに作成した、「モノレール沿線まちづくり構想」に基づき、モノレールの乗降客を増やし、モノレール延伸の効果を最大限発揮できるよう、沿線でのまちづくりやバス路線の再編検討などを進めております。

モノレールのルートにつきましては、町田市北部の尾根幹線から小山田桜台団地の区間で収支採算性の面から再度ルートの妥当性について比較検討しておりますが、小山田桜台団地から町田駅の区間については基本ルート通りと考えておりますので、町田第二地区を通るルートの変更予定はありません。

最後に、今後のスケジュールについてですが、東京都は、今年の3月に、資料1でお示しした、上北台駅から瑞穂町の箱根ヶ崎を結ぶ、約7kmの箱根ヶ崎方面延伸路線の都市計画決定を行い、2030年代半ばの開業を目指すこととしています。

これを参考にしますと、町田方面延伸については、箱根ヶ崎方面延伸から事務手続が、5年程度遅れて進んでいるため、開業時期は2040年代に入ると見込んでおります。

《質疑》

町田市中町中央町内会

何度も同じような質問をしていますが、まず、日大三高のあるBルートの検討はまだこれからだと。私も、のようにS字に曲がっている採算というか、工事費から考えたら、多摩センターから小山田桜台団地の最初にあったAルートのほうがいいかなと思って、そこら辺の検討状況を聞かせていただきたいというのと、もう一つは、市民病院から先、町田駅、これはわざわざ芹ヶ谷公園の中を通すのですが、あそこの公園を通すとかなりの工事費になりますよね。相当の落差があるという、それを考えたら、何度も言いますが、市民病院から直線で町田駅のほうに通してくる、どのように曲げないで通してくるという、ここは変えないということなのですが、工事費の今の高騰などを考えますと、ルートの変更を検討しなくていいのでしょうかという質問です。

中心市街地・モノレール推進担当部長

まず、1点目のAルートとBルートの検討状況ということですが、ご存じない方もいらっしゃると思いますので、こちらがBルートというもので、東京都の選定委員会の中で基本ルートとして選定されたルートです。もう1個、実は当初からあった案が、多摩市との境、尾根幹線道路までは変わらず、ここは28mの道路ができていますので、ここから真っすぐ小山田緑地の中を通って、トンネル等になりますけれども、桜台通りへ抜けていくルートがございました。さらに、CとDというルートもあったのですが、さらに複雑になっていったり、ちょっと距離が短か過ぎてお客様を拾えるところを通らないので、もう既に消えています。今、会長がおっしゃったように、AとBルートが残っています。

現在は、建設費が、つい数年前に比べて1.5倍近くになっている状況です。そういう中で、こちらのBルートは距離が16kmほどになります。Aルートでいくと13kmぐらいです。3キロほど短くなり、野津田公園等については、年間20試合ぐらいなら、どこかの拠点から運ぶことを検討しながら、最終的にどっちが良いか、検討を始めたところです。最終的に確定するには、ここ一、二年かかるかなというところです。最終的には東京都の判断となってきますが、町田市としても早期にモノレールができるように働きかけながら、よりよい選択をしていきたいと思っております。

次に、2点目の、芹ヶ谷公園を通すと橋ができるお金がかかるのではないかという話です。市民病院から真っすぐ現在の町田街道を通していけばいいのではという話なのですが、芹ヶ谷公園のグラウンドの部分が大体20mはいかないのですが、17、8mの高さの橋梁になってきます。道路も、ここに造ります。工事費は若干高くなります。

現道の町田街道を選択しない理由としましては、この町田街道は16mで既に完成しております。モノレールに最低必要な幅員というのは22mと言われています。選定しているルートは、25mの通りです。まだ市民病院までしかできていませんが、ここからは25mで整備します。モノレールルートが最低22m必要ですから、この町田街道を通すとなると、ここにマンションですとか、硬い建物が幾つもあります。都市計画決定されていないところをさらにもう1度都市計画を広げて建物を当てていくとなると、やはり補償費などが相当上がってきます。多分、工事費を軽く上回るのではないかという想定もされるので、そうした意味で、町田街道は少し厳しいなというのが本音でございます。

3 都市計画道路3・3・36号線市民病院前、「はらたむかい」の交差点名の掲示について

信号等への交差点名の掲示がないため、通学路等の説明にあたり、子ども

たちに伝えるのに説明時間を要します。早期に交差点名の掲示をお願いします。

【回答】

道路部長

議題3の「都市計画道路3・3・36号線市民病院前、『はらたむかい』交差点名の掲示について」、お答えします。

【投影資料】町田都市計画道路3・3・36号線と市道町田152号線との交差点を「はらたむかい」、また町田市民病院の前面にある交差点を「町田市民病院前」という名称にしていただくよう、2024年11月に道路管理者である東京都に推薦しております。

名称推薦に当たっては、地元町内会の皆様にご提案いただき、ありがとうございました。

ご提案いただいた名称で今後、東京都が掲示を行う予定ですが、実施時期は未定と伺っております。

早期に交差点名の掲示をしていただくよう、引き続き、申し伝えてまいります。

《質疑》

旭町二丁目町内会

3・3・6号線の掲示については、本来であれば今年の7月頃にはできるという話も頂戴していました、ところが、待てど暮らせど、まだ何の返事もないということなのです。これは警察なのか、あるいは東京都なのか。もし警察であれば、私も警察にお願いに行ったりしますが……。

道路部長

東京都です。

旭町二丁目町内会

待つしかないね。

道路部長

そうですね。町田市からも何度か声をかけているのですが、なかなか具体的にいつというお話をいただけていません、引き続き、地元の声ということで伝えたいと思います。

旭町二丁目町内会

ここもそうですが、ここに限らず、鎌倉街道もあれだけ多くの車が通るし、道幅も広くなっているし、交差点も幾つかあるのですが、そういう掲示を早くしていただければ大変助かると、よろしくお願ひします。

道路部長

必ず伝えてまいります。

(司会) 地区連合会副会長

私も1つ、関連なのですが、今、会長からもお話をありがとうございましたが、鎌倉街道が菅原神社の前から木曽団地東、あそこまでが何とかきれいに広がりました。自転車が走れるように線は入ったのです。こちらの3・3・36のほうは自転車専用道路という青い色が塗られているのですが、お答えできるかどうかちょっと分からぬのですが、鎌倉街道のほうにも、一日も早く自転車専用道路のマークをつけていただければ。あの歩道を、朝、通学で高校生の自転車は走る、小学生は歩くで、いつぶつかかるような事故が起こるか非常に心配しておりますので、これも多分、東京都になろうかと思いますが、一緒に強くお願ひしていただければありがたいということでございます。

道路部長

こちらにつきましても、暫定的に幅員は取れておりますが、まだ施工中で真ん中にガードレールを置いている現状を把握しております。その先の拡幅もまだできていないという状況もございますので、自転車レーン整備のタイミングがいつになるか確認し、地元からの声を必ず強く東京都には伝えてまいります。

4 旧消防署跡地について

旧消防署跡地について、バスケットゴールなどを設置し、中学生や高校生などがスポーツで利用できる場所に整備してほしいと考えていますが、今後の跡地利用の方向性について、市の考えをお聞かせください。

【回答】

政策経営部長

旧消防署跡地は、この度、東京都から、東京都南多摩東部建設事務所の改修に伴う仮設庁舎建設用地として、使用したい旨の依頼がありました。

この依頼を受け、2027年度から2030年度までの4年間については、東京都へ用地を貸付いたします。

この東京都への貸付期間終了後は、速やかに次の活用を行うため、東京都の使用が終了する前から、次の活用に向けた検討を開始します。

その間の社会情勢やニーズの変化も踏まえながら、まちづくり事業用地としての活用を検討してまいります。

《質疑》

旭町二丁目町内会

27年度から30年度までということで東京都に貸し付けていると。その前の段階で2年、3年あるわけですよね。その間に利用できるようなことはできないものかなと思っているのですが、いかがなものでしょうか。

政策経営部長

あと2年ぐらいあるということですが、今のところ、特段、利用方法としては考えていません。更地の状態で、東京都のほうへ貸すまでは、今のところ利用の予定はありません。

町田市中町中央町内会

2年間でも何か有効活用すると喜ばれるという話です。

政策経営部長

何か使ってしまうと、今度、どいてもらわないといけないという作業が発生しますので、その辺も考えながら、今のところは、活用の予定はないということです。

(司会) 地区連合会副会長

できたら地元にはとても喜ばれるとと思うのですが、いろいろな考えもおありになるのでしょうか。

5 健康遊具を活用した高齢者の健康増進について

高齢者の健康増進が課題となる中、各公園において、ブランコや滑り台等の子ども用遊具は1つの公園で複数見かけますが、大人用健康遊具はほとんど見かけません。

公園毎に1つずつ異なる大人用健康遊具を設置すれば、高齢者が散歩も兼ねて順番に公園を回ることができるようになり、結果として、介護を受けずに生活できる「健康寿命」を延ばす一助になると考えます。

市の高齢者施策の1つである介護予防にも通ずる健康遊具の設置について、市の考えをお聞かせください。

【回答】

都市整備担当部長

これまでにも町田市では、健康増進の観点や地域のご要望を基に、公園に健康遊具の設置を行ってまいりました。

現在、市内の33か所の公園に健康遊具を設置しており、最近では、忠生スポーツ公園や小山田蓮田緑地にも設置いたしました。

ご提案のように、公園ごとに1つずつ異なる健康遊具を設置することは難しいと考えておりますが、地域からのご要望に応じて、遊具やベンチの交換時期に健康遊具に置き換えることも検討してまいります。

《質疑》

町田市中町中央町内会

私の町内会ではシバヒロという大きな公園というか、シバヒロがあるので、そこでラジオ体操をやっております。多くの高齢者だけではなくてファミリー層も今参加しているのですが、やはりこういう健康寿命を延ばすという視点が非常に大事かと思っておりまして、この提案、健康遊具、考えましたら、うちの地域にはないと今思っていたところなのです。ですから、今幾つかあるということなのですが、それを増やしていくとか、今後の計画はどうなのでしょうか。

都市整備担当部長

具体的に年間に何個増やすとか、そういう計画はありませんが、一般的なお話で言うと、住宅地の開発をする際に公園とかが義務づけられていて、新しいご家族の方が入るときは小さいお子さんが多いので、小さい子向けの遊具を中心になりましたけれども、だんだん高年齢化が進んできて、そこに住んでいる方々の年齢層が変わってきた場合には、ある程度の年数がたつと老朽化も進むので、そういう場合に取り替えるときには、こういった健康遊具を地域の方から実際ご要望もいただいたりしていますので、臨機応変に遊具をつけていくことも、これからどんどん必要になってくるかなというのを考えております。

(司会) 地区連合会副会長

今、鶴間公園に何種類かの健康遊具がありまして、私も鶴間公園に行ったときにやったことがあります。それで、町田中央公園の野球場の周りは、今450mの遊歩道になっていて、朝早くから夕方遅くまで歩いている方、特に高年齢の方が多いのですけれども、確かにあそこにもそういった遊具はないものですから、基準はないのかも分からぬのですけれども、ああいう高齢の方が利用される遊歩道みたいな道に、ベンチ代わりにそういうものを置くと、高齢者の方にとってはいろいろな形の運動ができるので非常にいいのかと思います。その辺はいかがでしょうか。

都市整備担当部長

鶴間公園もリニューアルということで、かなり古い時代にできた公園から新しく整備をする際にそういった遊具を入れたりしていますし、あと、町田中央公園についても、どんなものがつけられるかはまたご相談になると思いますが、個別にご相談させていただければ、また考えていきたいと思います。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

東京都立町田児童相談所、これは長年誘致をしていたところですが、東京都立の児童相談所が山崎保育園の隣に、八王子児童相談所を分割してこちらに来ました。今まで、この5月までは八王子から町田市民のお宅に行ってお話を聞いて、子育ての悩みだとか、子どもに手を上げてしまうときにどうすれば良いかみたいな話を、大体お仕事をされている方が多いので夕方になるのです。八王子からこちらへ来て、夕方やって八王子へ帰るということをやっていたので、とても不便なので、こちらに分割して山崎から市内に行くことになったというのが一番です。

成瀬こどもクラブ（児童館）は、成瀬コミュニティセンターの庭の一部を潰して工事中で、来年の3月にオープンすることになりました。

学校統合の話ですが、今、第1期の最中で、本町田ひなた小学校が既に既存の校舎、旧本町田小学校を使って、統合後の学校として4月からスタートしています。それから、成瀬小学校も統合後の学校として、旧南成瀬小学校でスタートしています。いずれもこの後、例えば本町田ひなた小学校は、新しい校舎として、旧本町田東小学校、街道の、日産の近く、開進幼稚園の下ですが、そこの学校を今壊しています。あそこを本町田ひなた小学校の新築工事中ということです。

あと、第1期では鶴川中央小学校の改築の設計を始めました。ここの設計者を隈研吾さんという国立競技場の設計者が、随分大きさが違うのですが、やっています。

第1期のもう一つの地区の南地区は、統合ではなくて、南第一小学校としてそのまま建て替えるということで今設計をしているというのが現状です。

小中学校を含めて2040年が目標年度なので、まだ15年ぐらいかかるのですけれども、第2期、第3期ということで、ちょっと長い期間をかけてやろうというふうになっています。

小・中学校児童生徒の給食費が今年の1月、ほぼ1年近くになるのですが、無償になりました。

それから、中学校の全員給食が全市で実行されております。一番最後が南

地区なのですが、そこも今月から全員給食になりましたので、市内全部の中学校が全員給食をしております。

高齢者の特別養護老人ホームなのですが、ここは、16年前に調べたところでは1年以内に入った人が45%でしたが、去年の数値ですと、申込みから1年以内に入った人が9割を超えてるという状況です。

町田木曽山崎パラアリーナを整備しております。2028年度に完成で、パラアリーナという名前がついているとおり、パラスポーツのチームなり人なりが優先して使うという体育館です。空いていなければパラスポーツ専用になってしまふのですが、空いていれば健常者も申し込めるということで、パラアリーナという名前になっております。

国際工芸美術館は、2029年4月の開館予定です。付帯棟についても2027年8月開館の予定です。

それから、公園の中にエレベーターを造ると。これもこれからなのですが、28年度に供用開始ということで、原町田四丁目、五丁目のほうから来て、音楽座の稽古場のところから下へ降りるのに、エレベーターで降りるという工事です。

資源ごみ、つまり、瓶とか缶とかプラスチックですが、処理施設を2032年度完成予定で、もう少し早くなるかもしれません、整備をすることで、今、最終的な用地の買収をしている最中です。

容器包装プラスチック、これはペットボトルなのですが、PET、ポリエチレンテレフタレート、難しいので、みんなペットと言っているのですが、これとは別にプラスチックの入れ物、そういう容器は、全部来年の4月から別々、つまり分別になります。分別したものは袋を変えて、黄色ではなくてピンクの袋に入れてくださいとなっておりまして、町内会・自治会の皆さんにも既にご案内をしておりますが、町内会・自治会会員の皆さんには、来年4月、プラスチック分別ですよということを会うたびに言ってください。もう聞いたと言われても、また言ってください。袋の値段というか、使用料、手数料は黄色の半分、減額になりますので、32円の袋が、同じ20Lで、ピンクのほうは16円になります。プラスチックはピンクの袋へ入れていただくということで、4月からスタートしますので、皆さんの方で住民の皆さんに宣伝をしていただきたいと思います。

はしょりましたが、取りあえず以上でございます。

《質疑》

町田市中町中央町内会

質問というより、石阪市長さんにぜひお願いしたいなという意見です。9月の本会議でも議論になったかと思うのですが、今のひなた小学校、私は本町田小学校の立ち上げのときに教員だったのです。ご存じだと思うのですが、

私は本町田西小にいまして、本町田西小と緑小と原小の3校が1つになって本町田小になったのです。私たち教員にとって、当時、今、消防署になっておりますが、緑小、あそこのほうが断然校庭も広くて教育環境がいいというので、統合するなら緑小にというお願いをしていたのです。ところが、原小の保護者、地域の人や教員が、希望の森があるから、これはなくてはならないというので、押し切られるような形で原小に本町田小が決まったのです。

今度は、この1期目の話ではなくて、ひなた小の跡地に三中と山崎中学校を統合して入れると、教育委員会がそういう計画をしました。そうしますと、山崎中学校は、今、校庭が1万m²以上あるのです。ところが、本町田小は5,000m²、半分しかないのです。体の大きい中学生を、しかも2校をそこに押し込めるというのはどういうことですかというのがまず1つ。いや、大丈夫だと教育委員会は言うのです。それは、希望の森を全部削って、壊して運動場にするからと。これはないでしょうと。私は当時の立ち上げの教員として、緑小がいいのに原小になったときに、教育委員会をはじめ、希望の森がすばらしいからと説得されたのです。今度は、教育委員会は簡単に希望の森を壊して中学校の用地にすると。

これはちょっと、今、第1期はもう進んでいますのであれなのですが、その後、石阪市長さんのお力で、無理な計画はちょっと見直してもらう、中学生をあんな狭い学校に入れるというのは保護者も子どもたちも納得しないのではないかと思いますので、そういう2期計画なのですが、ぜひ石阪市長さんの任期の間で見直しをさせていただければと、お願ひします。

町田市長

任期の話がありましたが、2月いっぱい市長を引退するということが決まっておりますのでというか、もう言ってしまいましたので、とてもその任期では議論はできないかなと思います。教育委員会の見解は今のお話のとおりなので、その中で運動場ができるだけ広く確保できるように、そういう努力は本当に必要かと思います。森を全部すぱっといけば、それは確保できるけれども、それをある程度残した状態で何かできるという方策はないのかどうか、教育委員会のほうには、今日そういうお話がありましたよとしっかりと伝えます。ちょっと私の任期中には難しいです。

森野やよい自治会

今回、議題として質問はしていませんで申し訳ないのですが、ふだん、小学校の朝の登校の見守りを毎日やっておりまして気になるところが数点あります2つ確認させていただきたいのですが、1点目は、私の地区の森野やよい自治会から、小学校は町田第四小に通っているのですけれども、そうなると、川を越えて、線路を越えて行かなければいけないのです。そこに行くの

が住吉神社のそばにある小さいトンネルだけでして、そこが通行止めになると、市役所のすぐそばの踏切を渡っていかないといけないということになります。森野橋の大きな橋もあるのですが、あそこに関してはＪＲの線路を渡るところだけ歩道がなくなっています、あの部分は、今後、歩道を拡張する計画があるのかを確認したいと思います。

あと1点は、夏場になると結構草が通学路に多くなりまして、交通量の少ない道ではあるのですが、その草をよけて子どもたちが歩くので、結構みんな車道に広がって歩いたりして、ちょっと危ないなと思うのです。よその地区なので、そこの会長さんと話をして草刈りとかをしたりするのですけれども、市のほうで道路の草刈りをすることがあるのかを確認させていただきたいと思います。

道路部長

まず、森野橋、今、グーグルで確認しましたが、線路をまたぐところだけ細くて、赤いカラーがずっとなっているところですよね。橋の幅員が足りなくて歩道形状が取れていません状態です。ここは、相模原市側の橋も含めて、都市計画道路として16m幅員の計画になっておりますが、事業のめどが全くついていない状態、今ある現況の幅でどうにかできる方法はないかということで、現在のような形態になっています。おっしゃるとおり、危ない状況ではあると思います。

あと草刈りに関しては、道路が見にくいとか、車から子どもが見えないよとか、道路に草が出てしまっているものについては要望をいただいた順にやらせていただいているのですけれども、最近、草が元気で、草が生える期間がすごく長いため年に2回でどうにか対応しているのですけれども、2回ではちょっと足りない状況もあり、なかなか全ての要望にお応えできていない状況があります。ただ、安全第一ですので、危ないようなことがありましたら、順次対応していきたいと思っておりますので、ご連絡をお待ちしております。

森野やよい自治会

分かりました。ありがとうございます。

新中町町内会

さっき質問していただいたように、消防署の跡地の件で、ぜひバスケットゴールをとお願いしたところなのですが、現状、うちの息子たちはバスケットボールをやっているのですが、本当にやれる場所がほとんどなくて、今行っているのが新しくできた忠生スポーツ公園、さっき市政報告に入っていましたけれども、あそこに新しいゴールができましたので、そちらまで自転車

で頑張って行ってやる。もしくは、あと、つくし野のほうにもう一つ、大きめの公園があるそうで、そこだと地面がちゃんとしていてゴールがあるという環境なのです。それ以外の場所でゴールがある公園というのは少しあるのですけれども、やはり広さが足りなかつたりですとか、土の上でしたりとか、崖の端っこにちょっとあるみたいな感じのところしかなくて、現状、サッカーにはとても温かい町なのに、バスケットボールには冷たい町となっています。

ぜひ駅の近く、芹ヶ谷の上とか、もうちょっと駅からふらっと行けるような場所に外のゴールがあるとうれしいなと思っていて、ぜひあそこの場所がせっかくあと2年も空いているのであれば、1個ゴールを、うちのゴールを持っていってもいいので、つけていただけるとうれしいなと思うのですが、いかがでしょうか。

政策経営部長

2年と言いましたけれども、実際にはもう1年少しなので、なかなか1回つくって、皆さんでそうやって楽しんでいただいても、またすぐ出ていくてねという話になりますし、そこは慎重に考えています。

また、先ほど申しましたけれども、南東建に貸すのが2030年までなので、その後どうするのというところもあるのですが、やはり中心市街地に近いまとまった一団の土地ということで、いろいろと需要もあるのかと思っていまして、まだ白紙なのですが、そういう意味で、いろいろな可能性は考えていきたいと思っています。

○閉会の挨拶（町田第二地区町内会・自治会連合会副会長）

議題1 資料1

町田駅周辺のまちづくりの動き(拡大図)

市民
ホール

I 町田駅周辺開発推進事業 (A、B、C、D地区関連)

D地区

地区

JR町田駅

相模原市

JR町田駅南地区

地区		地区の特性・役割と導入機能イメージ
A地区	モディ～東急WEST 面積約1.0ha	公共交通機能の集約と町田の「シンボル」 (新バスセンター、多摩都市モノレール町田新駅)
B地区	小田急町田駅北口 面積約1.4ha	まちの新たな賑わい創出による「駅前の顔」 (オフィス、シネマコンプレックス)
C地区	西友・パリオ 面積約0.5ha	町田の文化や学びを発信する「交流拠点」 (ライブホール(演劇、ミュージカル))
D地区	森野住宅周辺 面積約5.5ha	大規模なオープンスペースを活かした 新たな「賑わいと憩いの空間」 (音楽・演劇ホール、広場空間、都市型住宅)
南地区	市営駐車場 面積約0.7ha	町田駅南側からの人々を迎える「玄関口」 (自由通路、駐車場、広場空間、都市型住宅)

(関連)多摩都市モノレール
町田方面延伸事業

(関連)都計道3・4・11号線
延伸事業

芹ヶ谷公園

中心市街地俯瞰図



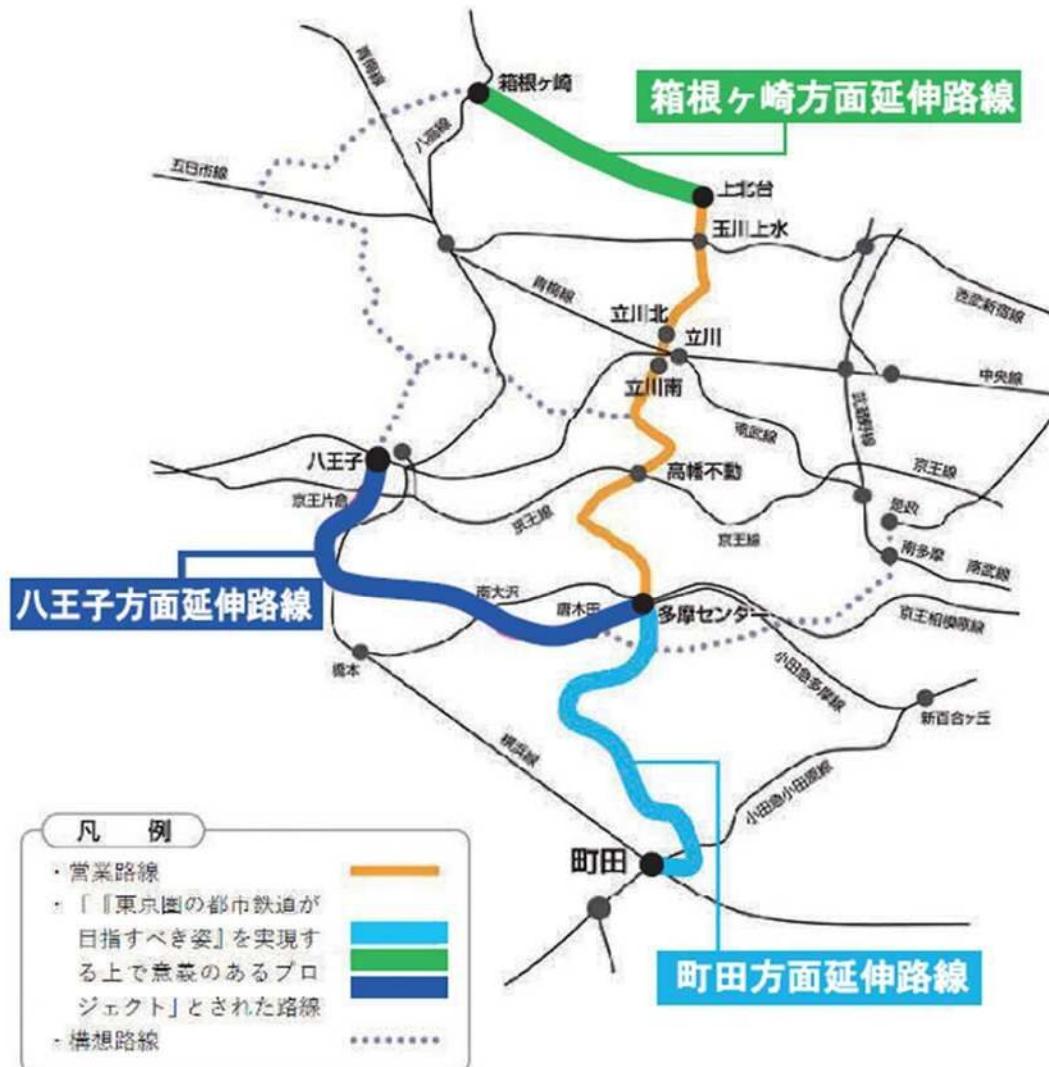
議題1 資料2

道路基盤整備イメージ



多摩都市モノレール全体構想

議題2 資料1



出典：国土交通省『鉄道ネットワークのプロジェクト』（2016年7月）
図 多摩都市モノレールの延伸検討・構想路線

町田方面延伸基本ルート

議題2 資料2



議題3 都市計画道路3・3・36号線市民病院前、「はらたむかい」の交差点名の掲示について
投影資料





健康遊具の例



前屈台



ツイスト



腹筋ベンチ



懸垂遊具